

東京におけるHIV/AIDSのトピックス

今村顕史

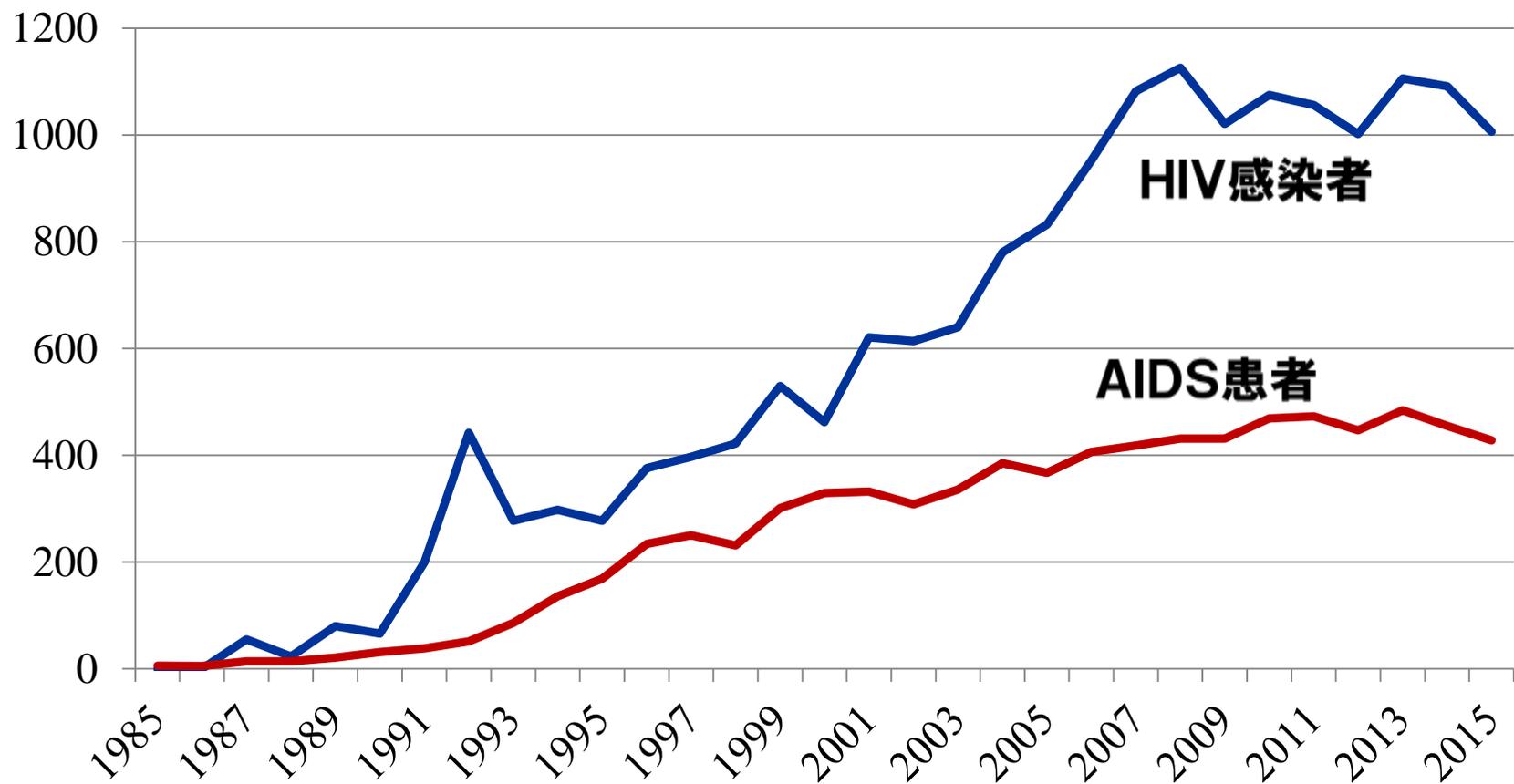
がん・感染症センター 都立駒込病院

目次

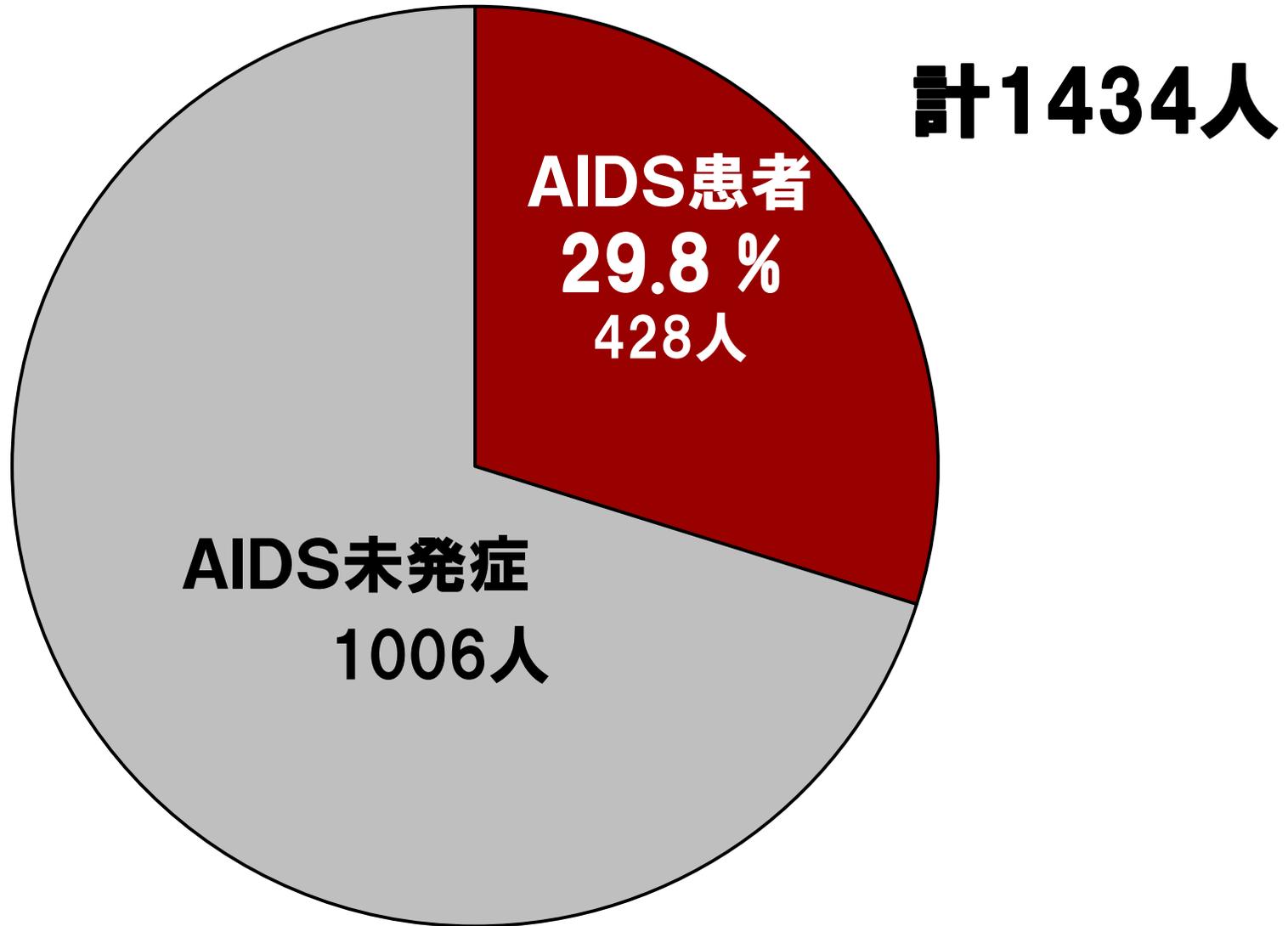
1. 日本におけるHIV/AIDSの状況
2. 東京におけるHIV/AIDSの状況
3. HIV検査の施設
4. 抗HIV療法(ART)
5. 加齢と長期合併症

1. 日本におけるHIV/AIDSの状況

新規 HIV/AIDS 報告数の推移



HIV/AIDS発生報告数(2015)



感染経路別の HIV/AIDS 報告数 (2015)

合計 1434

感染経路	報告数 (%)
異性間の性的接触	291 (20.3%)
同性間の性的接触	941 (65.6%)
静脈薬物使用	5 (0.3%)
母子感染	1 (0.1%)
その他	27 (1.9%)
不明	169 (11.8%)

国籍・性別のHIV報告数(2015)

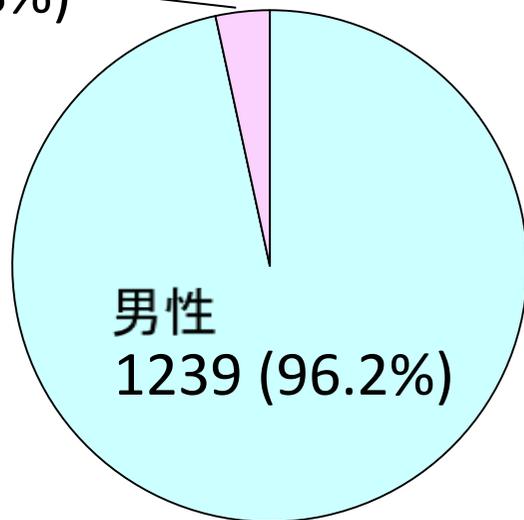
合計**1434**

日本国籍 **1288**

外国籍 **146**

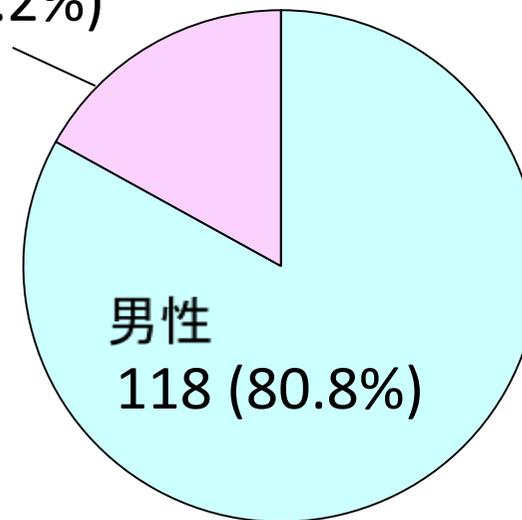
女性

49 (3.8%)



女性

28 (19.2%)

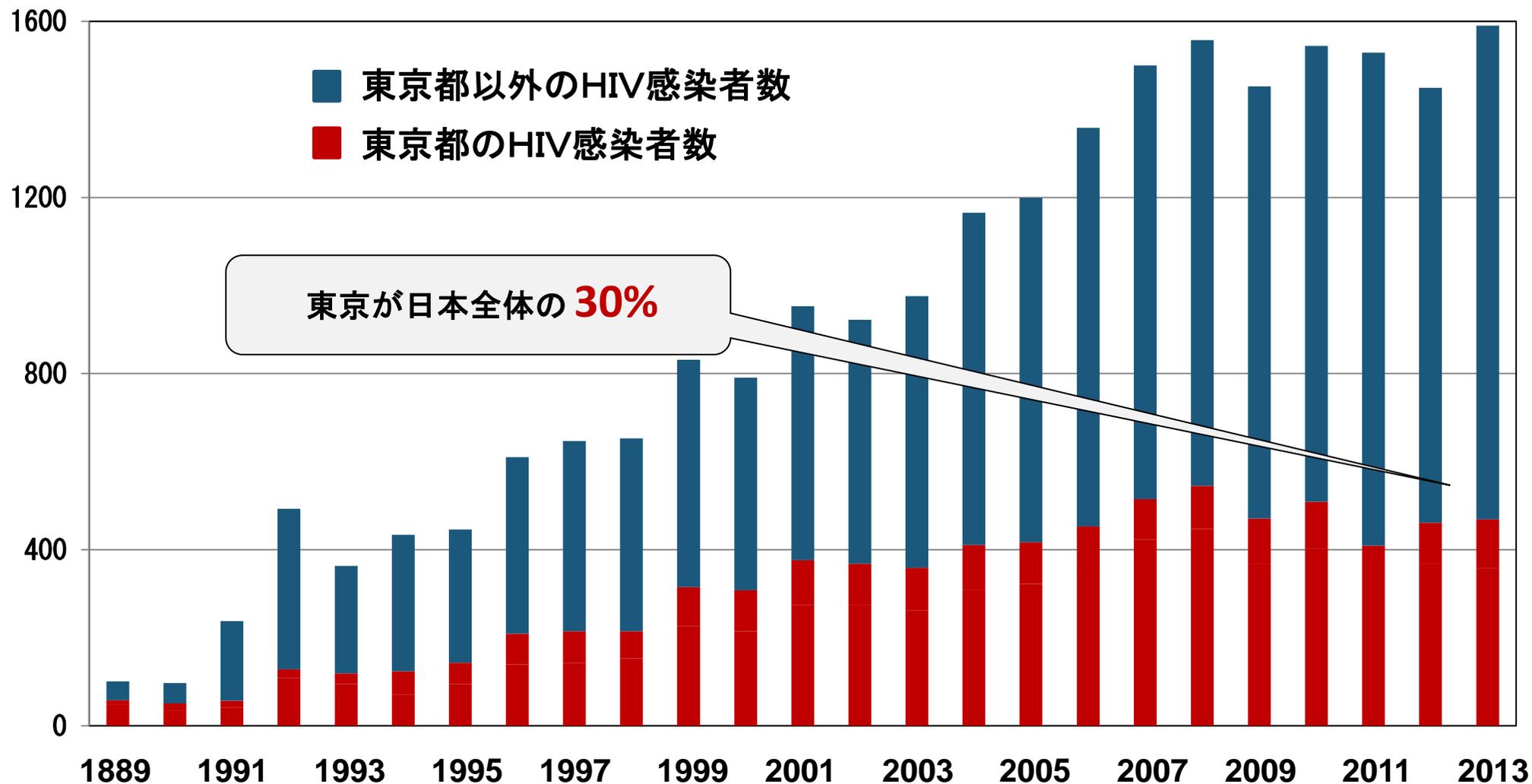


日本のHIV感染症は、
今も「**MSM**」を中心に増加している

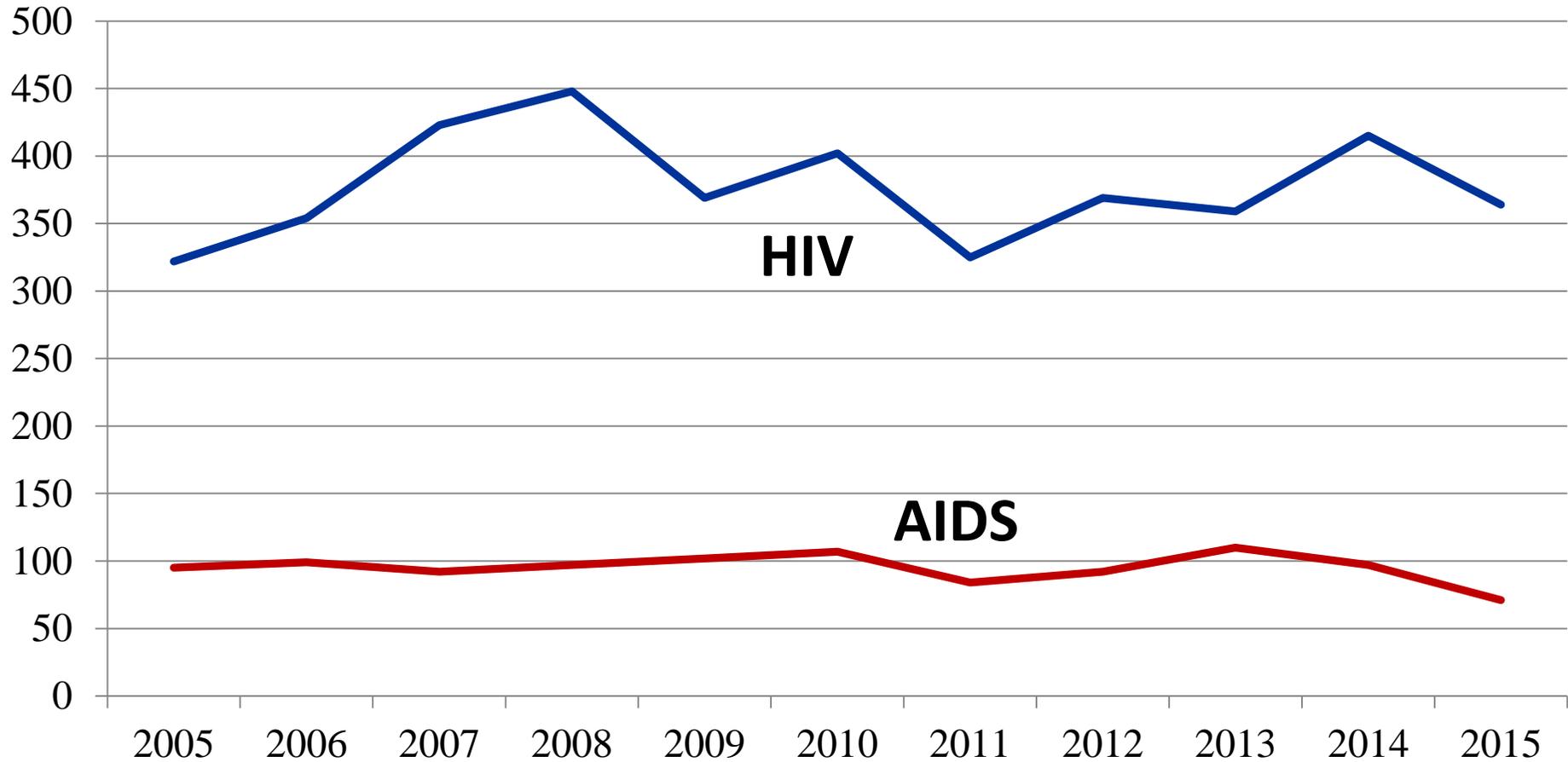
MSM = men who have sex with men

2. 東京におけるHIV/AIDSの状況

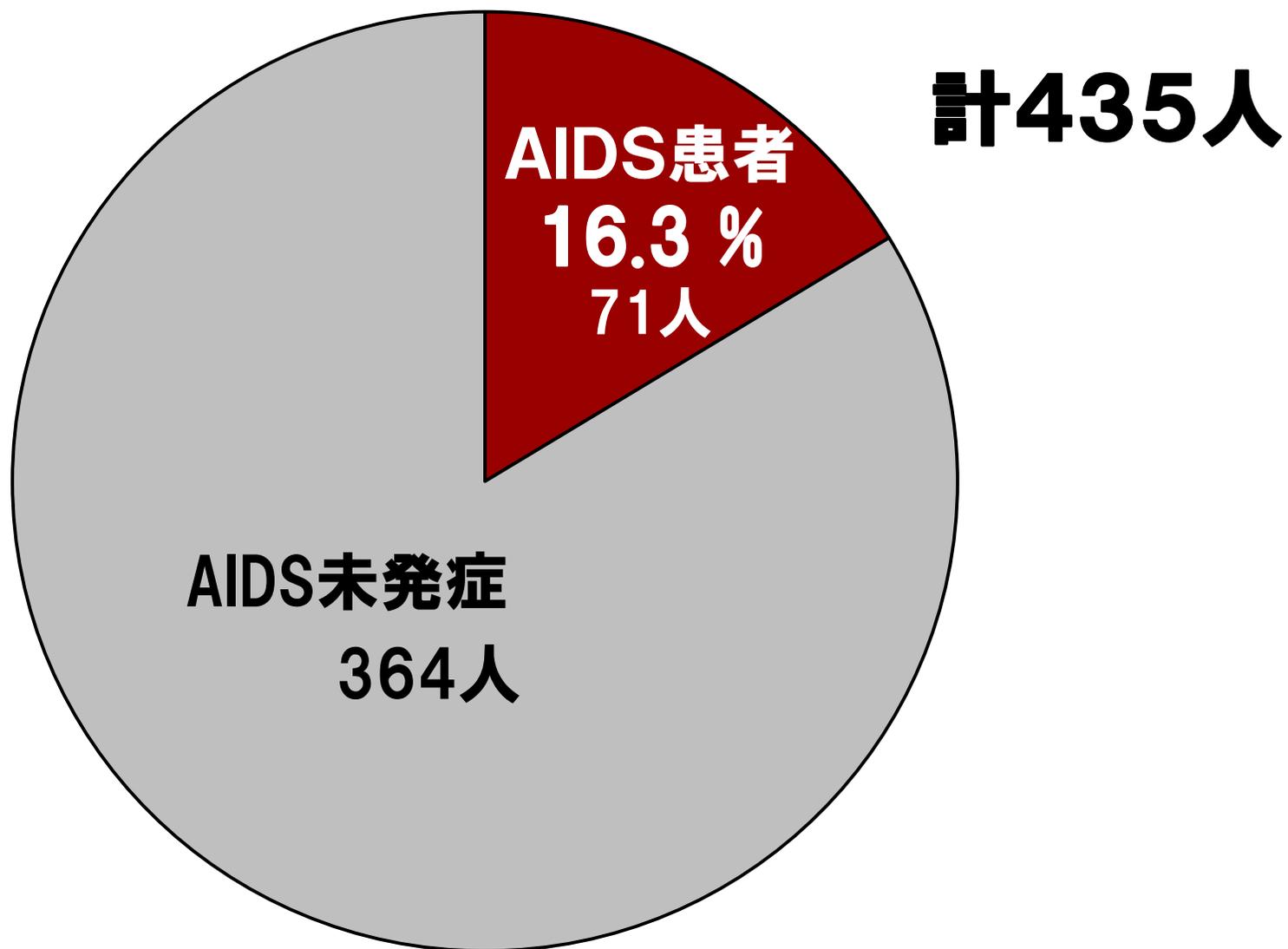
全国と東京都におけるHIV感染者の推移



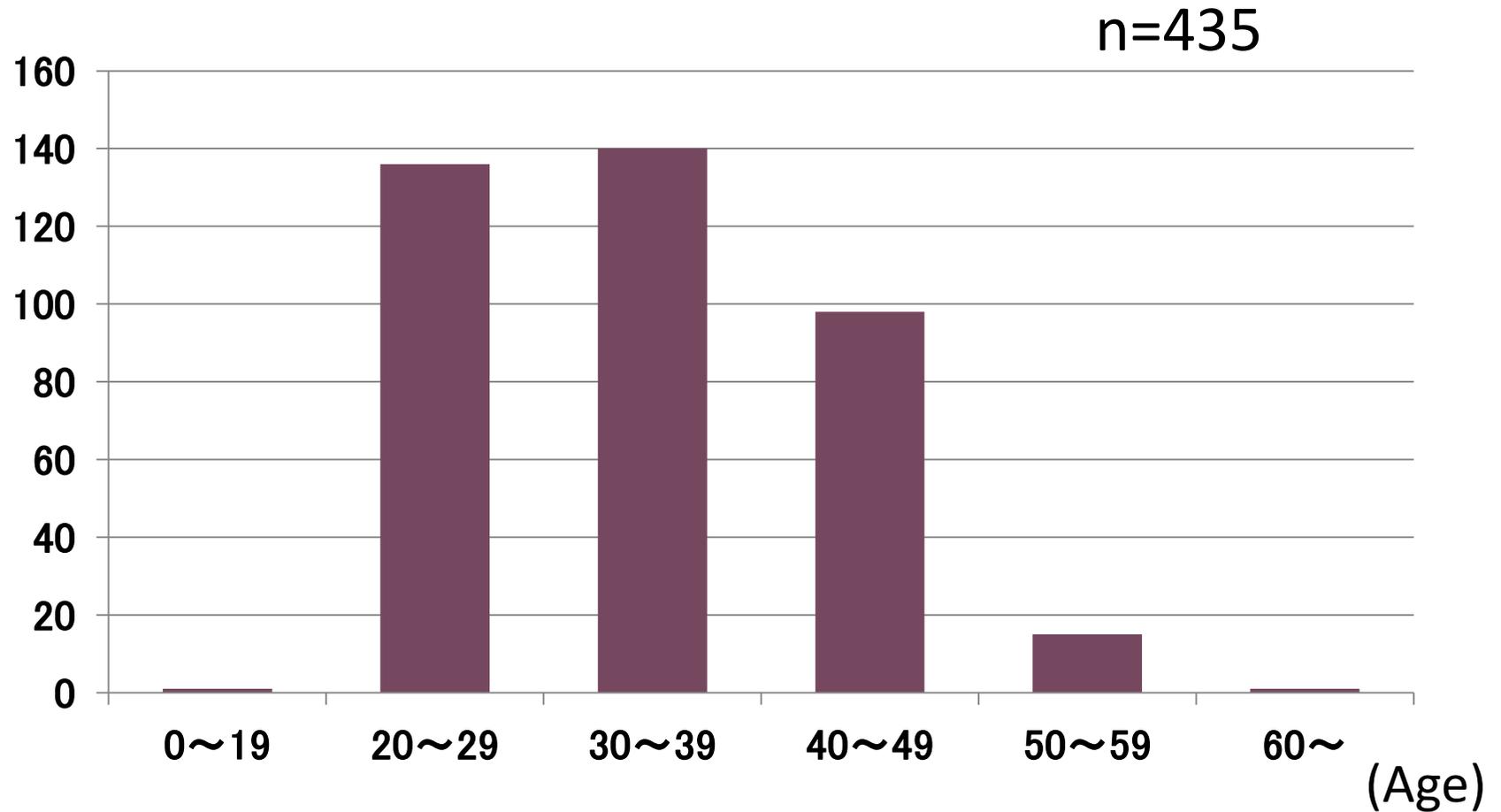
東京都における新規 HIV/AIDS 報告数の推移



東京都のHIV/AIDS発生報告数(2015)

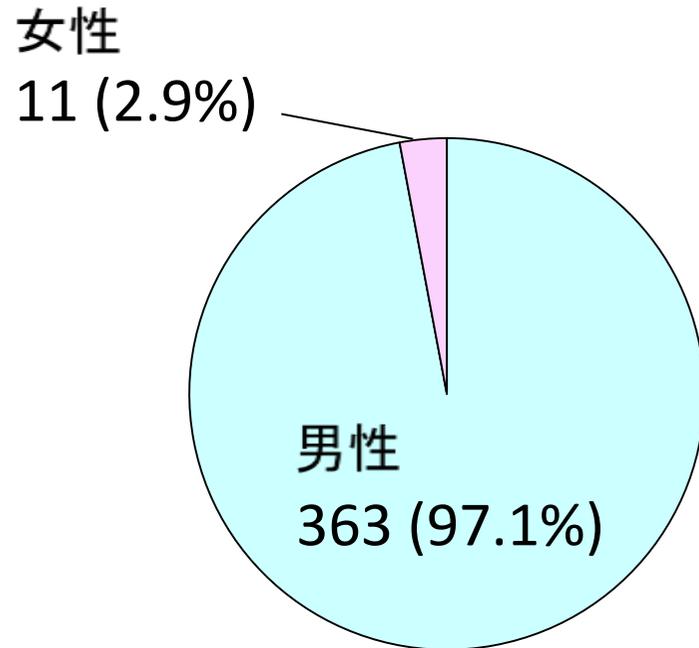


東京におけるHIV感染者の年齢層(2015)

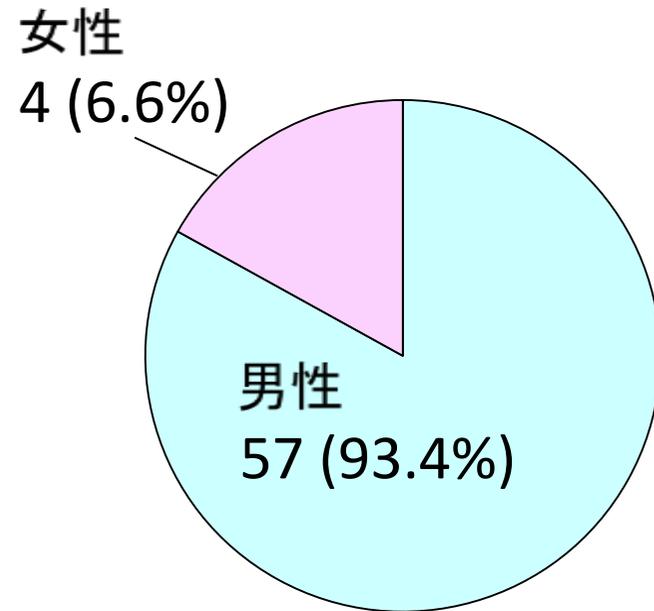


東京における国籍・性別のHIV報告数(2015)

日本国籍 374



外国籍 61



3. HIV検査の施設

東京におけるHIV検査施設

検査相談施設 (無料、匿名)

- 保健所
- 東京都南新宿検査・相談室

病院、診療所

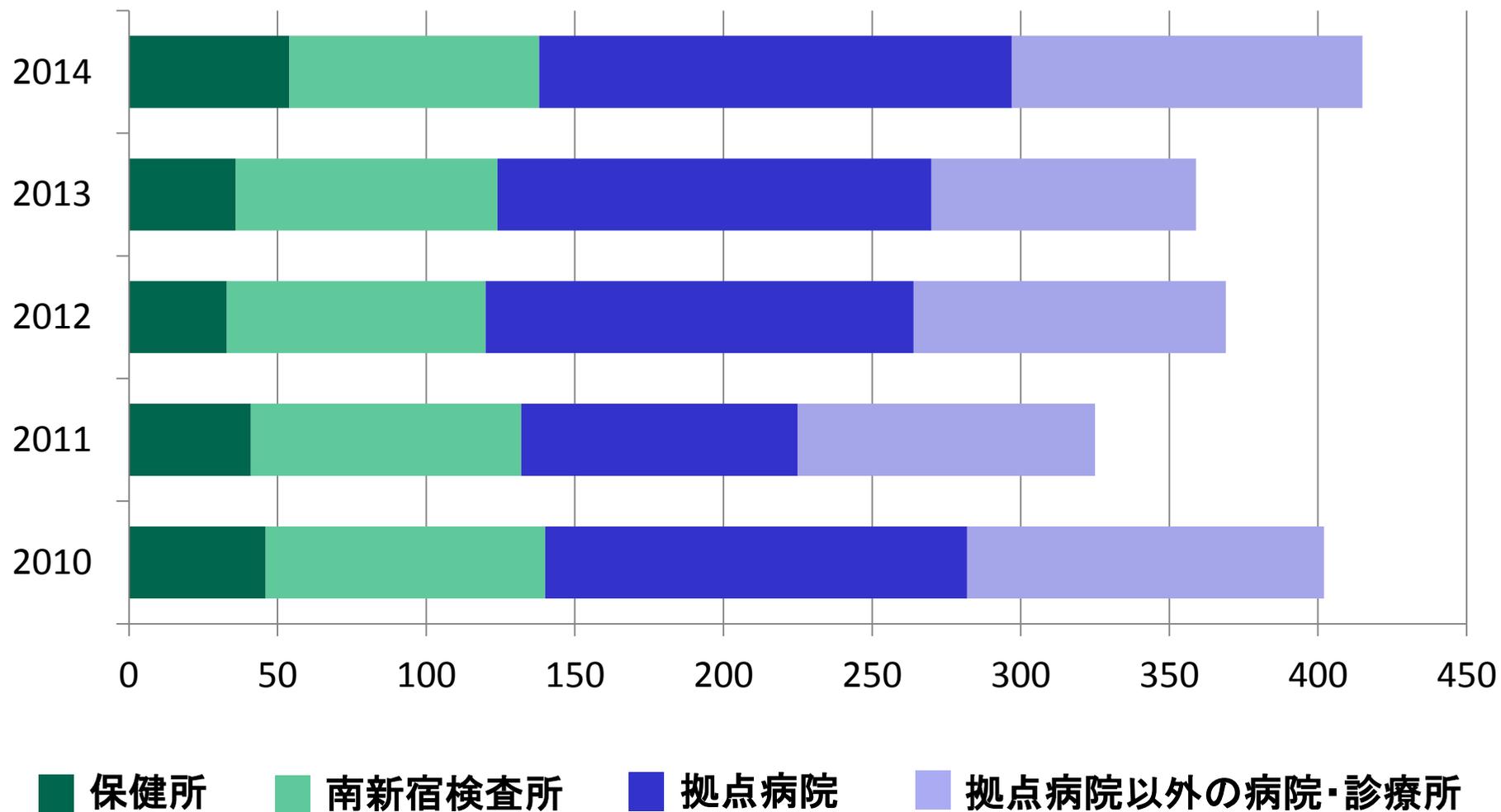
- エイズ診療拠点病院(44病院)
- 他の医療機関 (病院と診療所)

東京都南新宿検査・相談室

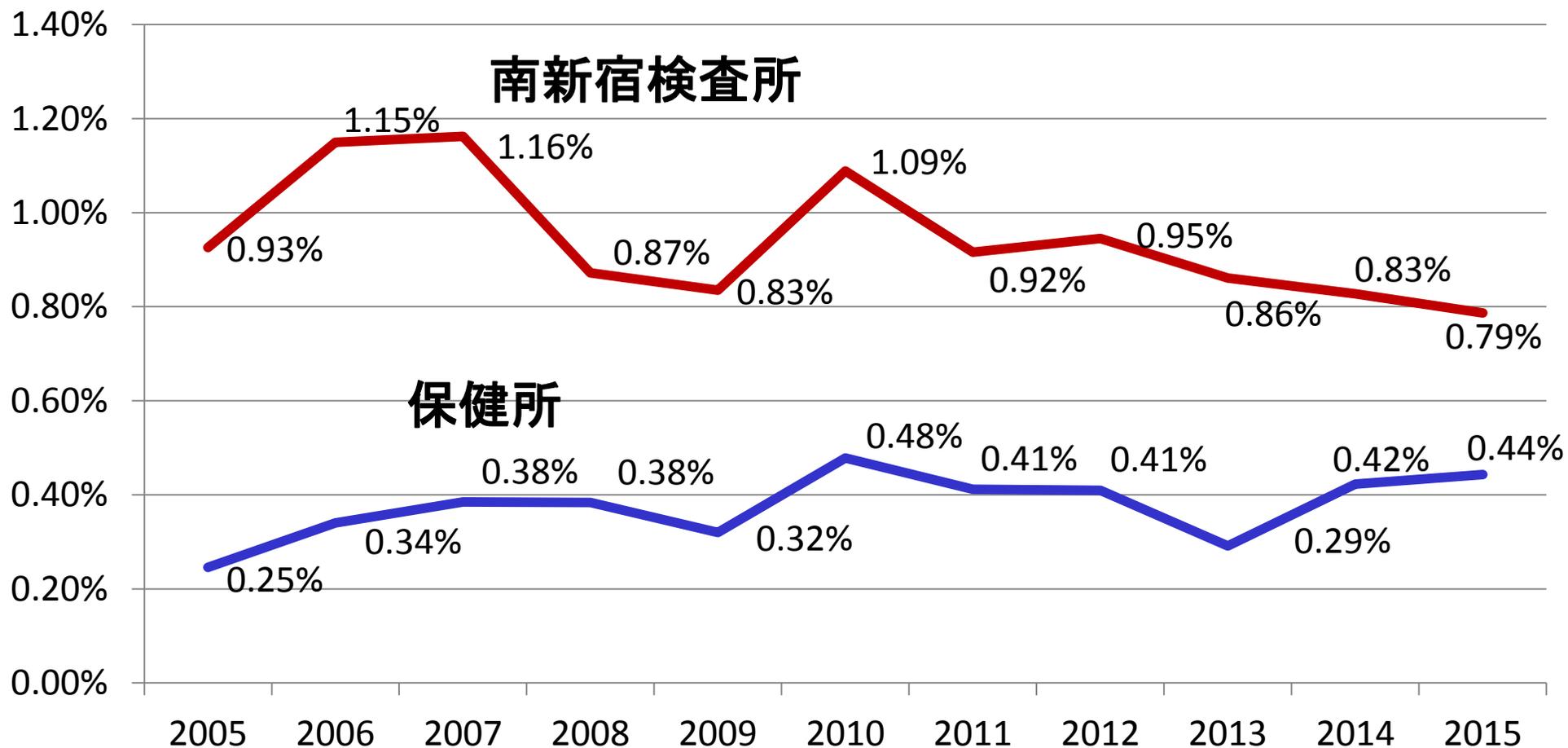


- 新宿駅南口 徒歩3分
- 検査受付時間
月~金: 15:30-19:30 土日: 13:00-16:30
- 無料、匿名
- 携帯電話、スマートフォンからの予約が可能

東京の検査施設におけるHIV報告数



東京の保健所・検査所におけるHIV検査陽性率



郵送検査

HIV-self testing（個人検査法）のひとつ

ネットのみで検査確認まで可能

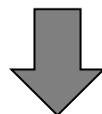
複数の企業によって行われている

国としては承認していない

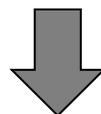
郵送検査の一例



ネットで検査キットを申込み

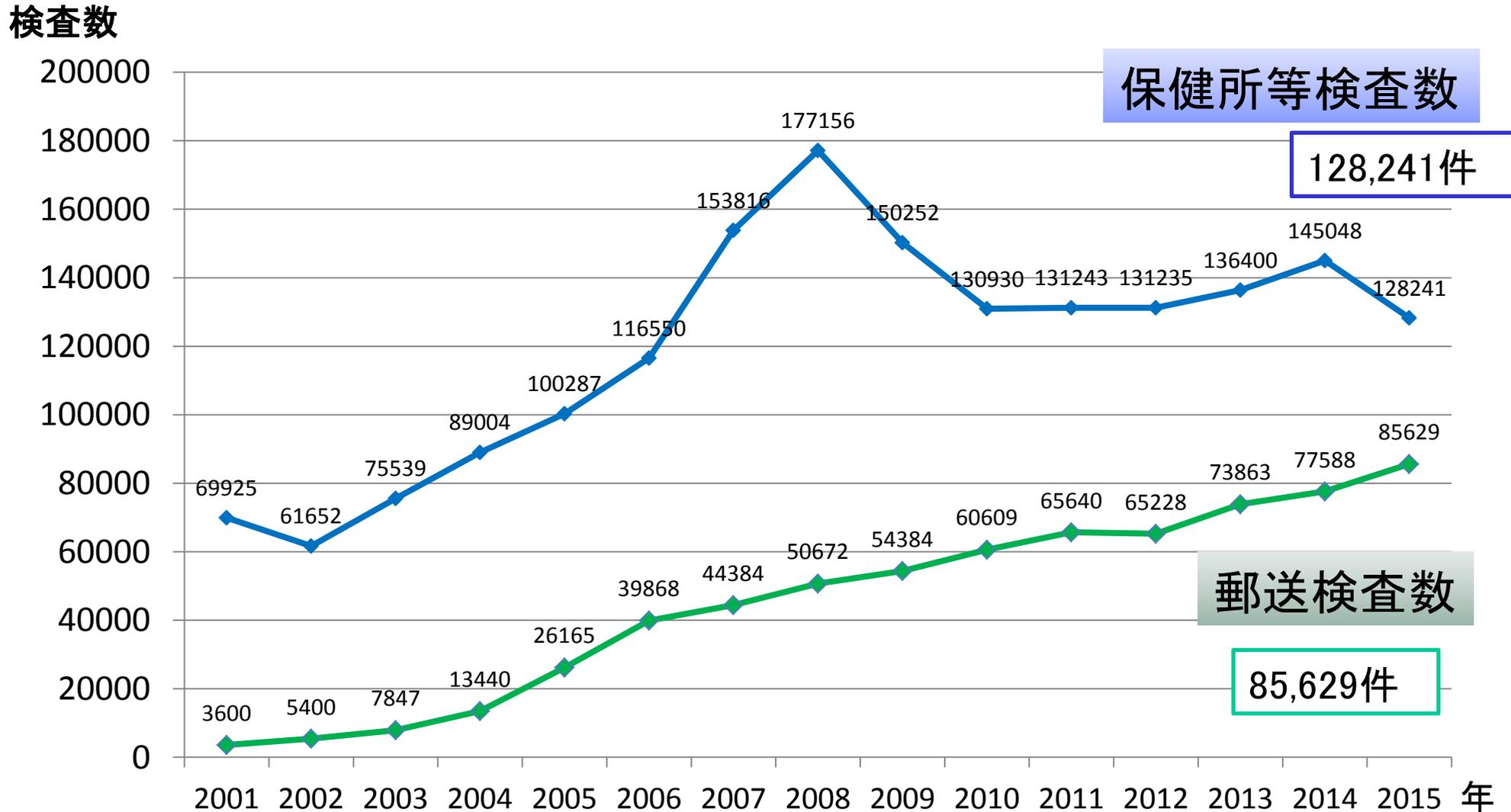


自分で採血して返送(匿名)



結果をネットで確認

郵送検査数と保健所検査数の推移



HIV郵送検査の問題点

検査会社によって対応に差がある

精度管理が義務化されていない

偽陰性が含まれている検査もある

プライバシーの守られていない

セックスワーカー向けの団体検査もある

今後の受検勧奨における課題

地方におけるMSM

年齢層の高いMSM

異性間による感染者

MSM: men who have sex with men

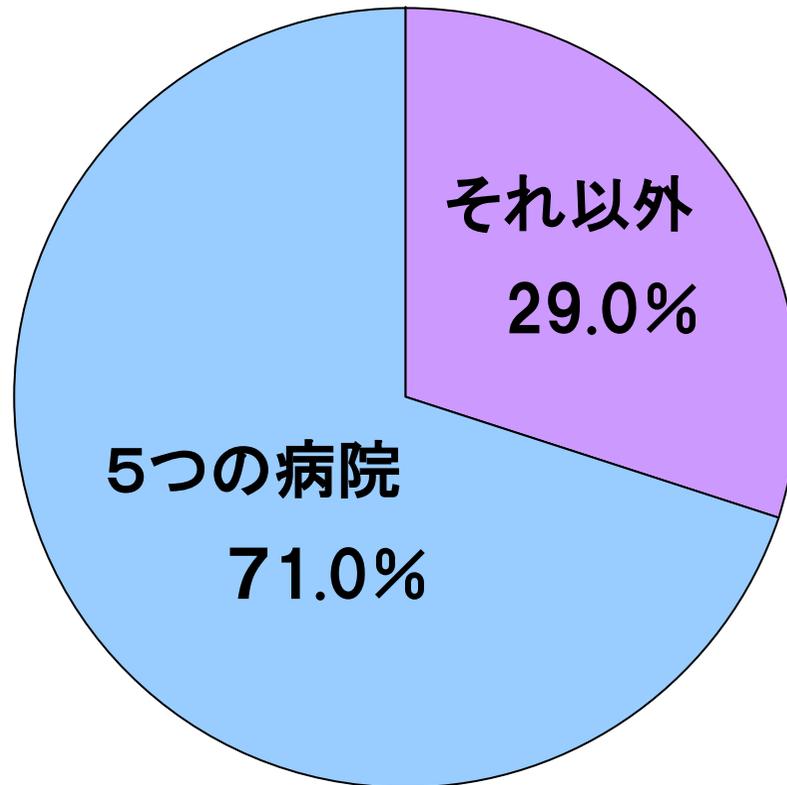
4. 抗HIV療法(ART)



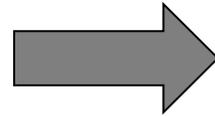
360 エイズ拠点病院

東京都におけるエイズ拠点病院の診療状況

外来患者の約7割が、
44拠点病院の5病院に集中している



抗HIV療法(AntiRetroviral Therapy : ART)



副作用 ↓

薬剤耐性 ↓

STR が選択できる

(**STR** : single tablet regimen)

STR(single tablet regimen)



RPV/TDF/FTC



DTG/ABC/3TC



EVG/COBI/FTC/TDF



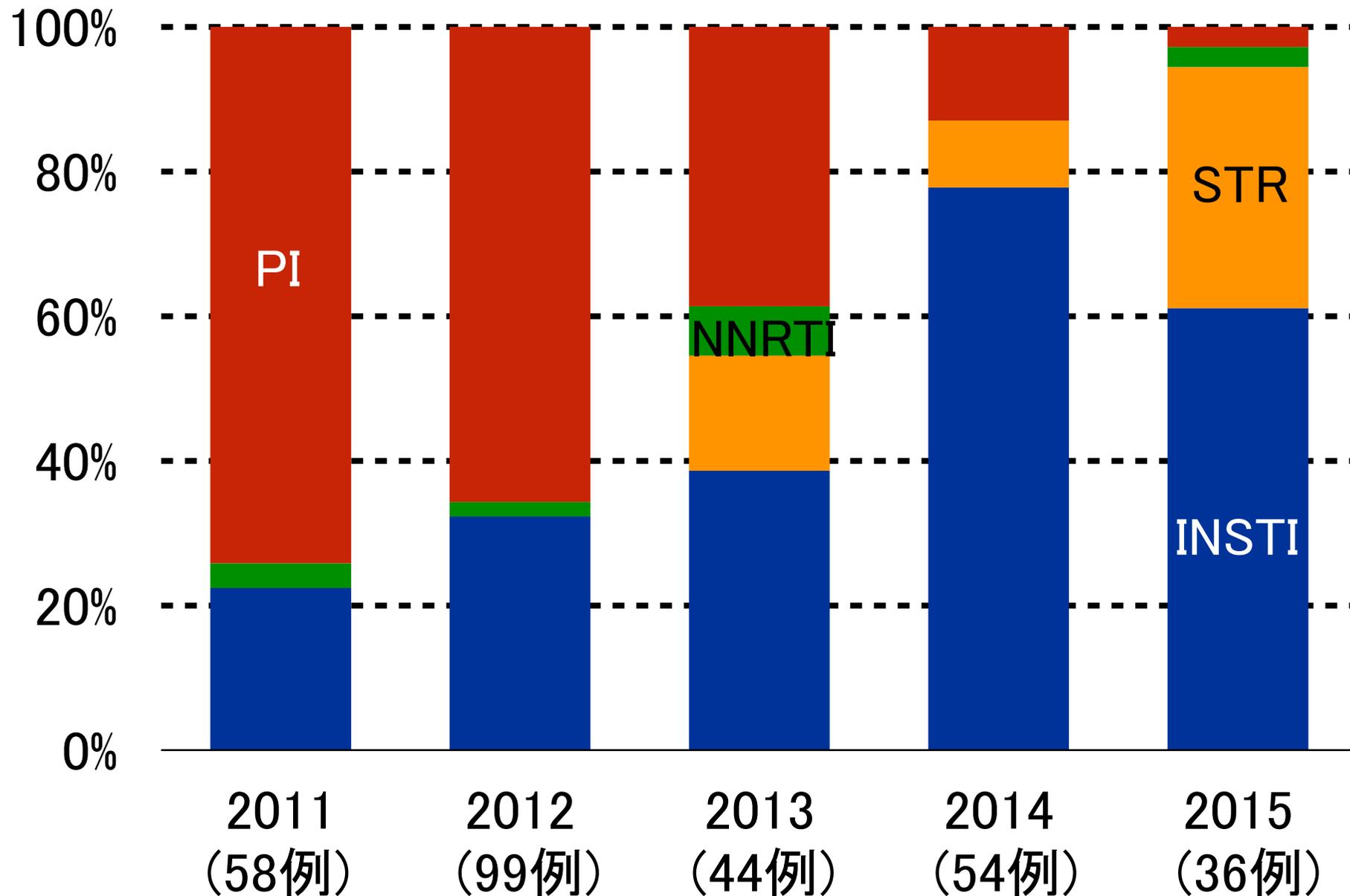
EVG/COBI/FTC/TAF

日本で推奨されるARTの組み合わせ(2016)

推奨される組み合わせ	1日に内服する錠剤
DRV+RTV+TDF/FTC	
RAL+TDF/FTC	
DTG+TDF/FTC	
DTG/ABC/3TC	
EVG/cobi/TDF/FTC	
EVG/cobi/TAF/FTC	
RPV/TDF/FTC	

分類	抗HIV藥
NRTI	AZT
	3TC
	ABC
	TDF
	FTC
	ABC/3TC (EZC)
	TDF/FTC (TVD)
NNRTI	EFV
	RPV
PI	RTV
	LPVr
	ATV
	DRV
INSTI	RAL
	DTG
STR	EVG/COBI/FTC/TDF (STB)
	RPV/TDF/FTC (CMP)
	DTG/ABC/3TC (TRI)
	EVG/COBI/FTC/TAF (GEN)

新規ART導入例(Key drug)の年次推移



TasP

予防としての治療

(Treatment as Prevention)

世界のHIV/AIDS

2000年

新規の感染者数

310万人

35%減少



2014年

新規の感染者数

200万人

治療を受けている患者数 **22倍**に増加

エイズ関連の死亡者数 **約4割**の減少

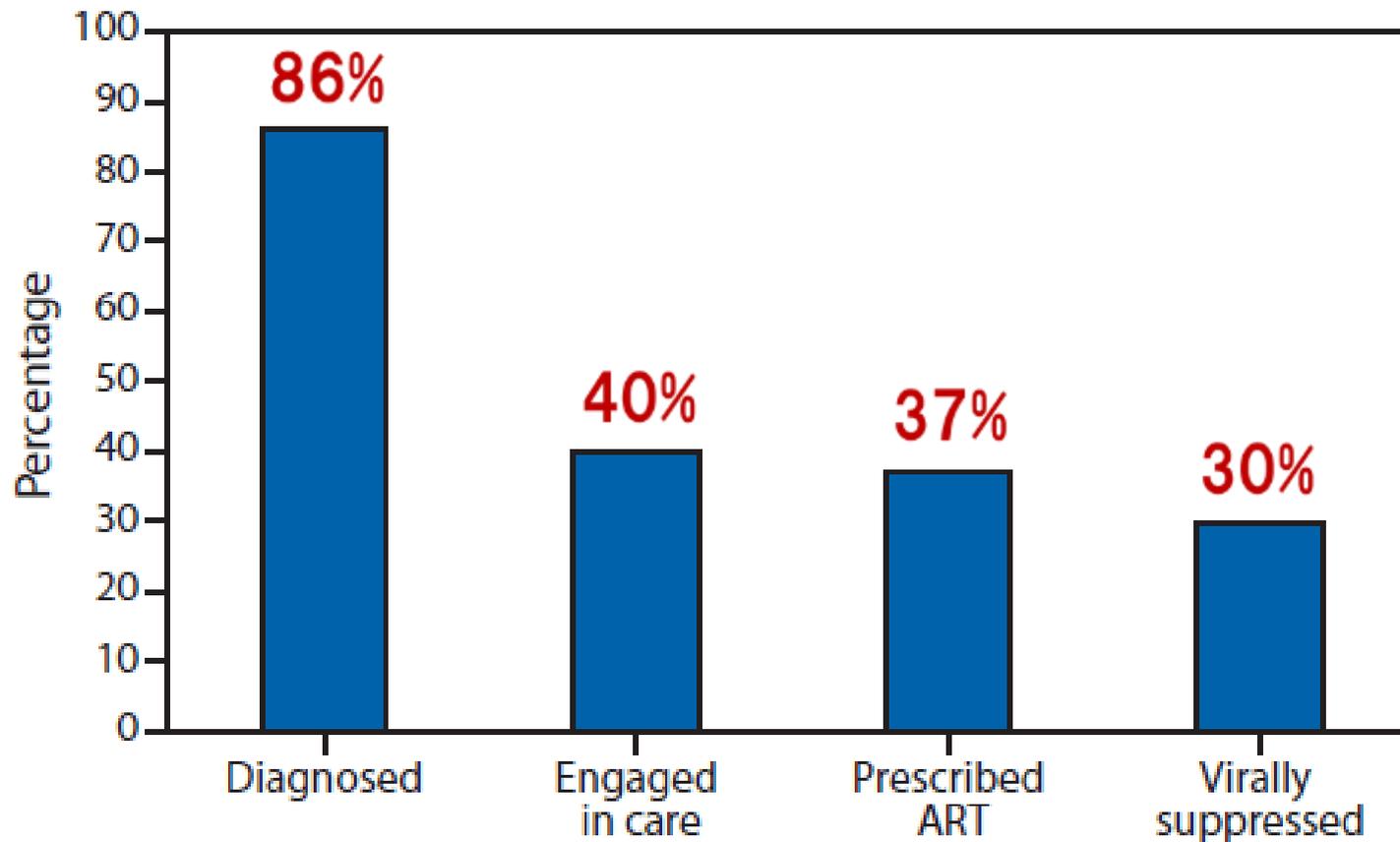
「カスケード」戦略

90—90—90 の達成を目指す

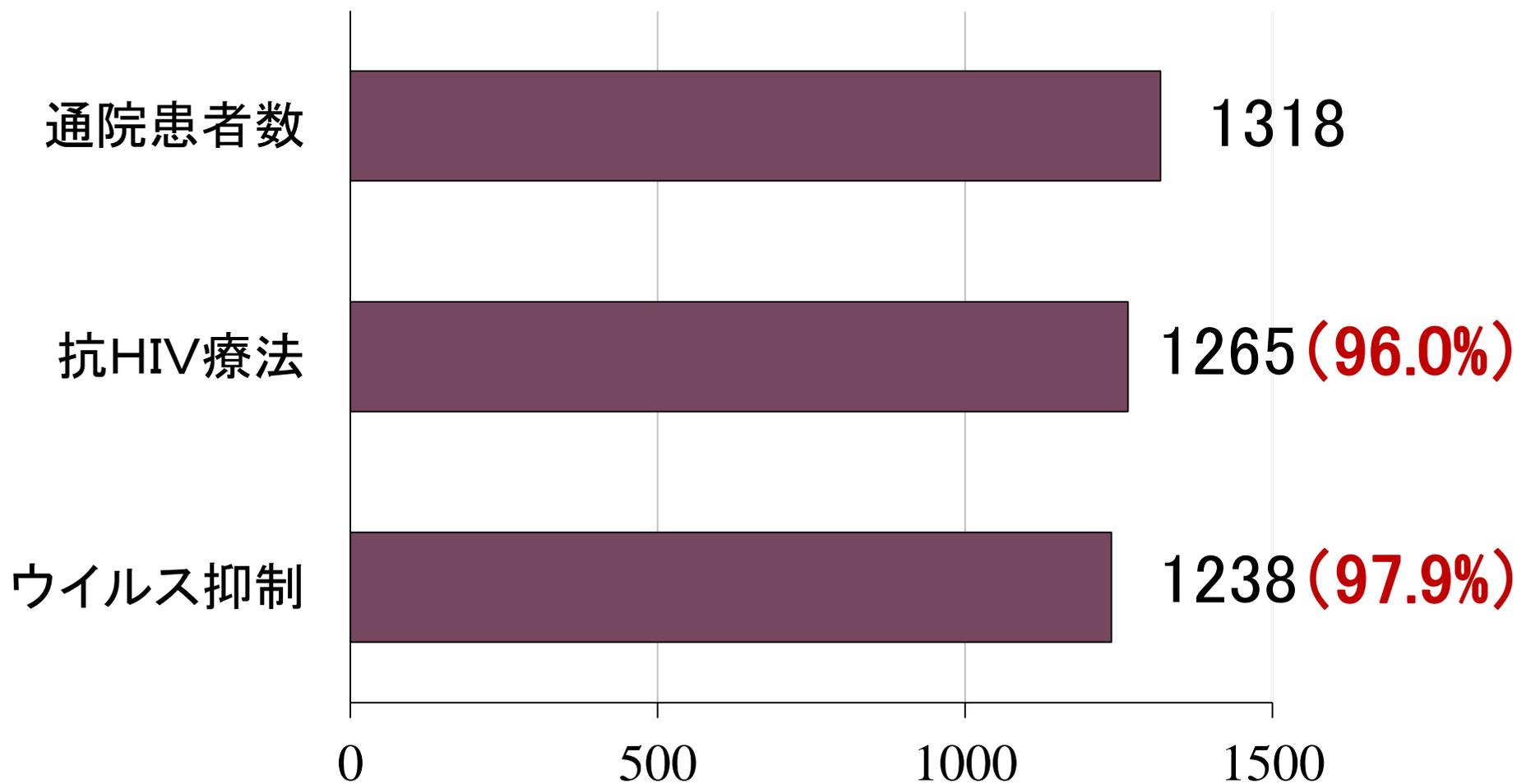
- 全患者の診断率 **90%**
- 定期的な受診 **90%**
- 有効な治療 **90%**

米国における カスケード

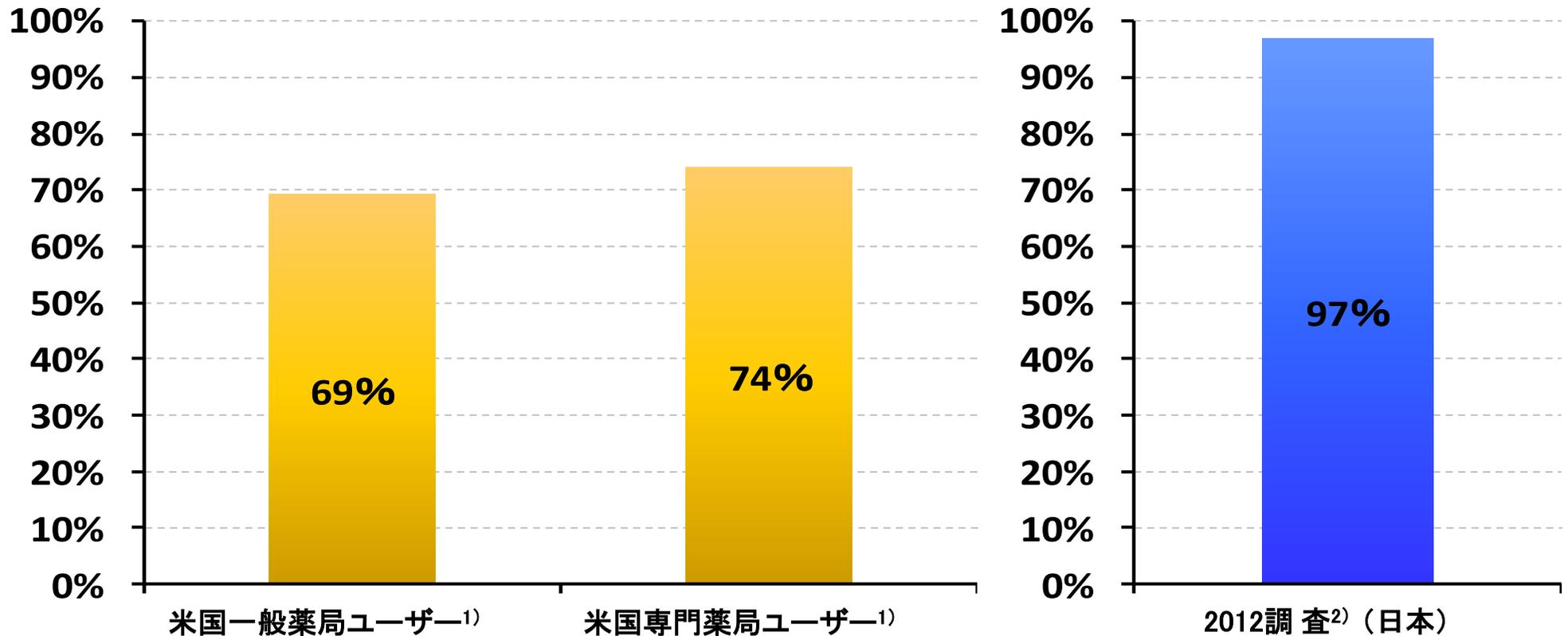
HIV感染者数 **120万人** (2011年推計)



駒込病院における抗HIV療法(2015)



米国ユーザーと日本人の服薬遵守率



1). Patricia Murphy, et al. AIDS PATIENT CARE and STDs. 2012 ;26:526-531.

2). 「生活と服薬継続に関するアンケート」2012

PrEP

曝露前予防内服

(Pre-Exposure Prophylaxis)

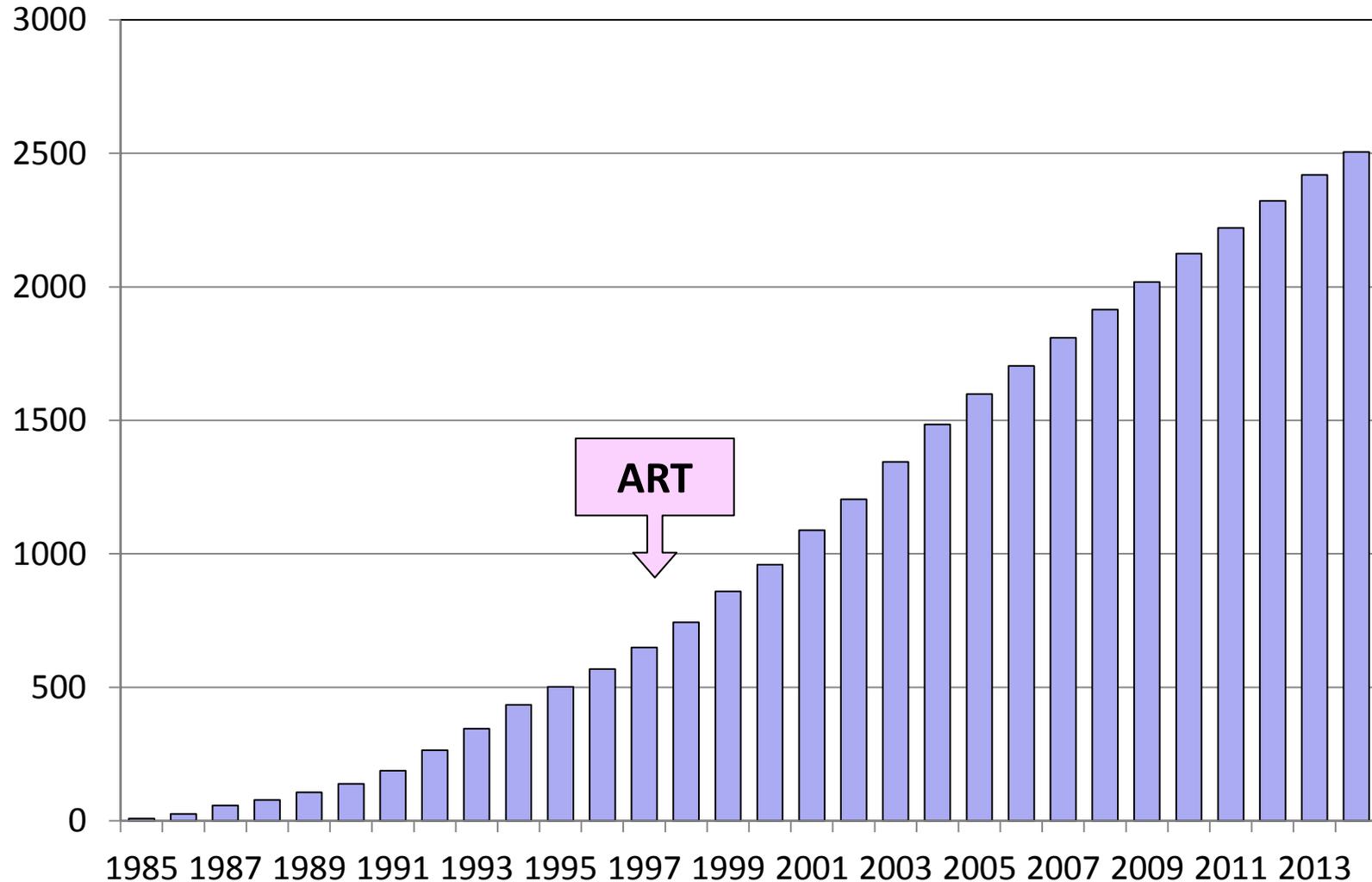
日本における医療費と保険

- 抗HIV療法による医療費は約20万円/月
- その費用の70%は保険料で支払われている
- 残りの費用負担を軽減する福祉制度がある
- 最終的な費用負担は0～20,000円/月
(支払額は収入によって異なる)

5. 加齢と長期合併症

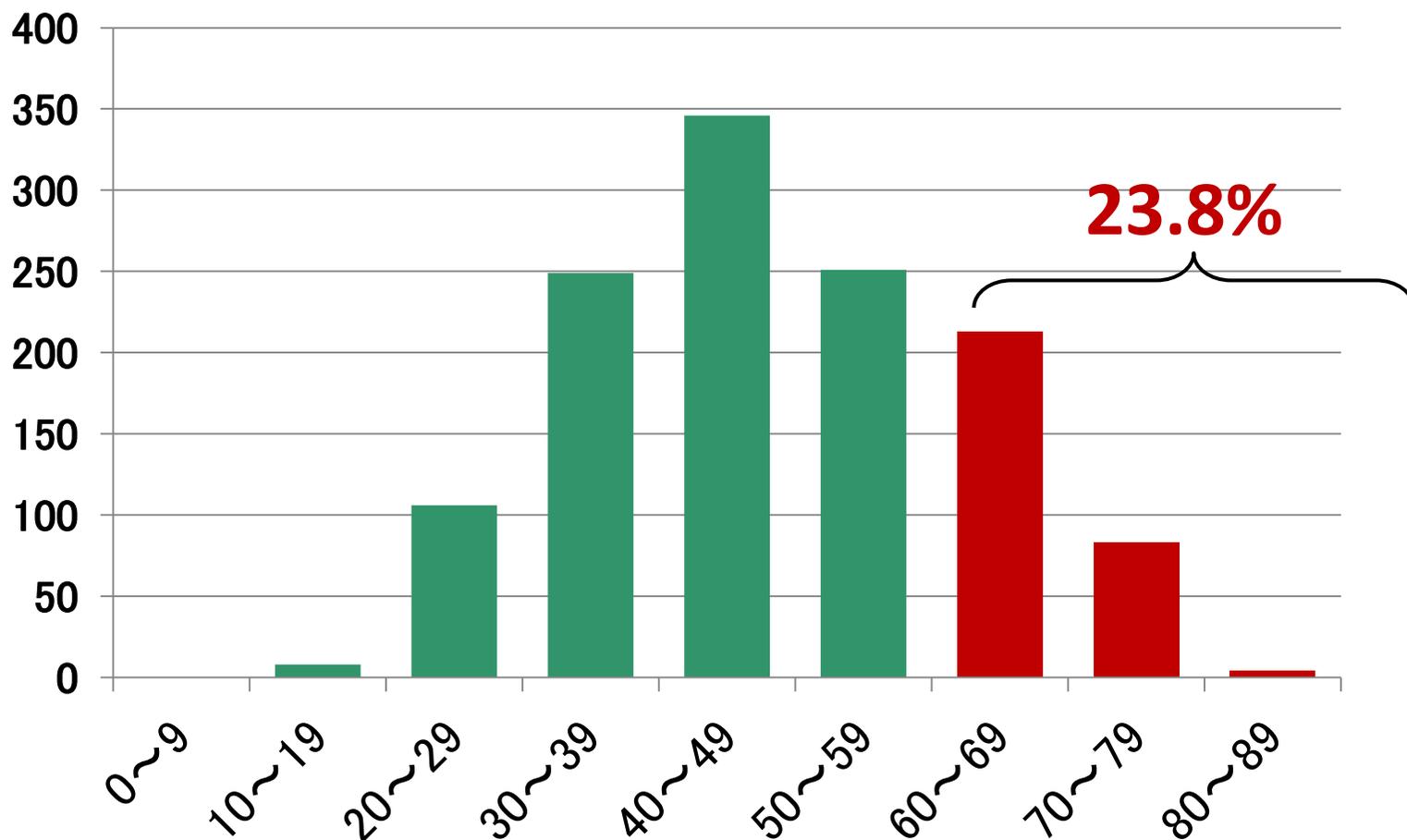
駒込病院の累積HIV感染者数

(～2014年) **2506 人**



駒込病院における通院患者の年齢

2014年 n=1260



非エイズ関連合併症

心血管疾患

肝疾患

慢性腎臓病

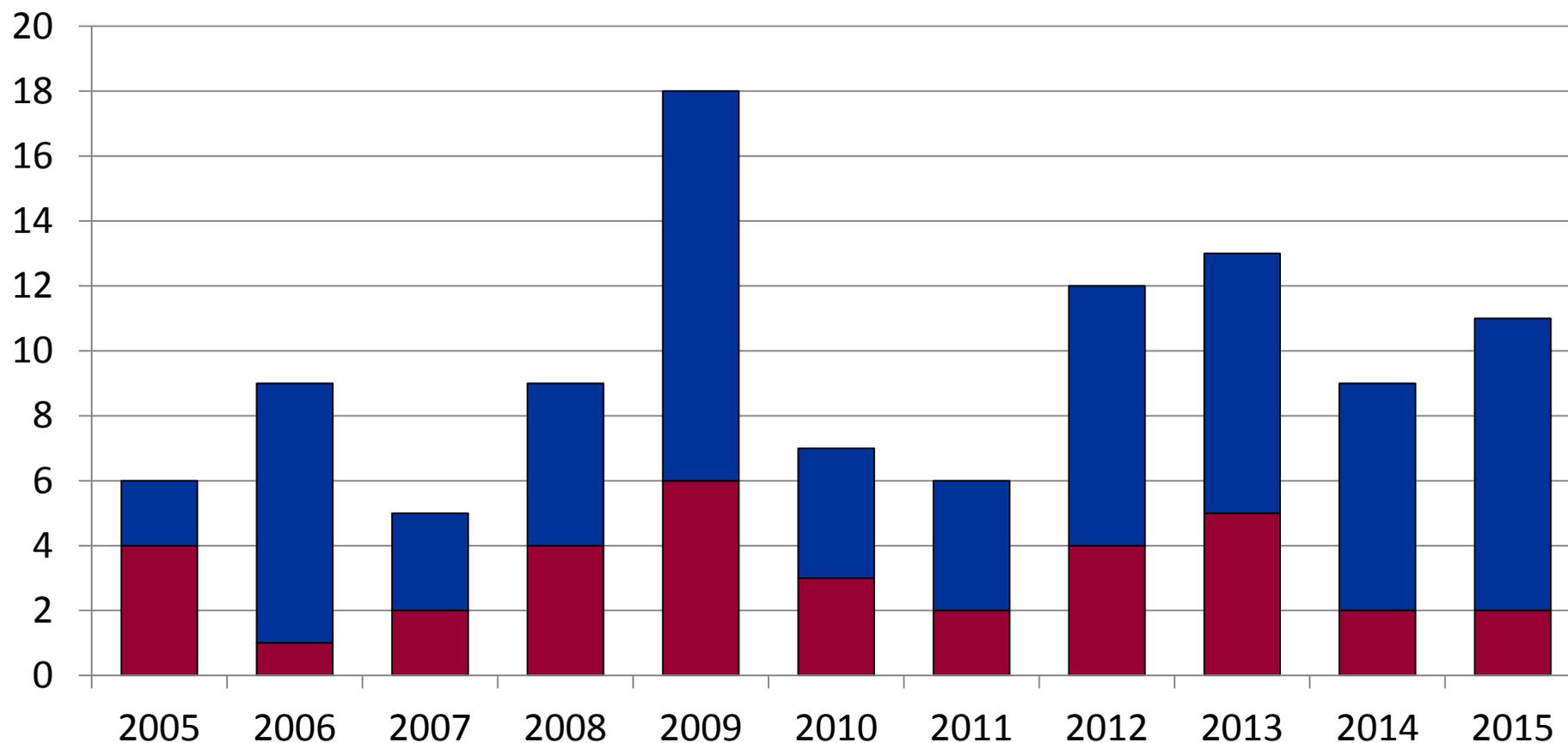
骨粗鬆症

HIV関連神経認知障害 (HAND)

非エイズ関連悪性腫瘍 (NADM)

駒込病院における通院患者の死亡原因

- AIDS関連疾患による死亡
- 他の原因による死亡



AIDS指標悪性腫瘍(ADM)

カポジ肉腫

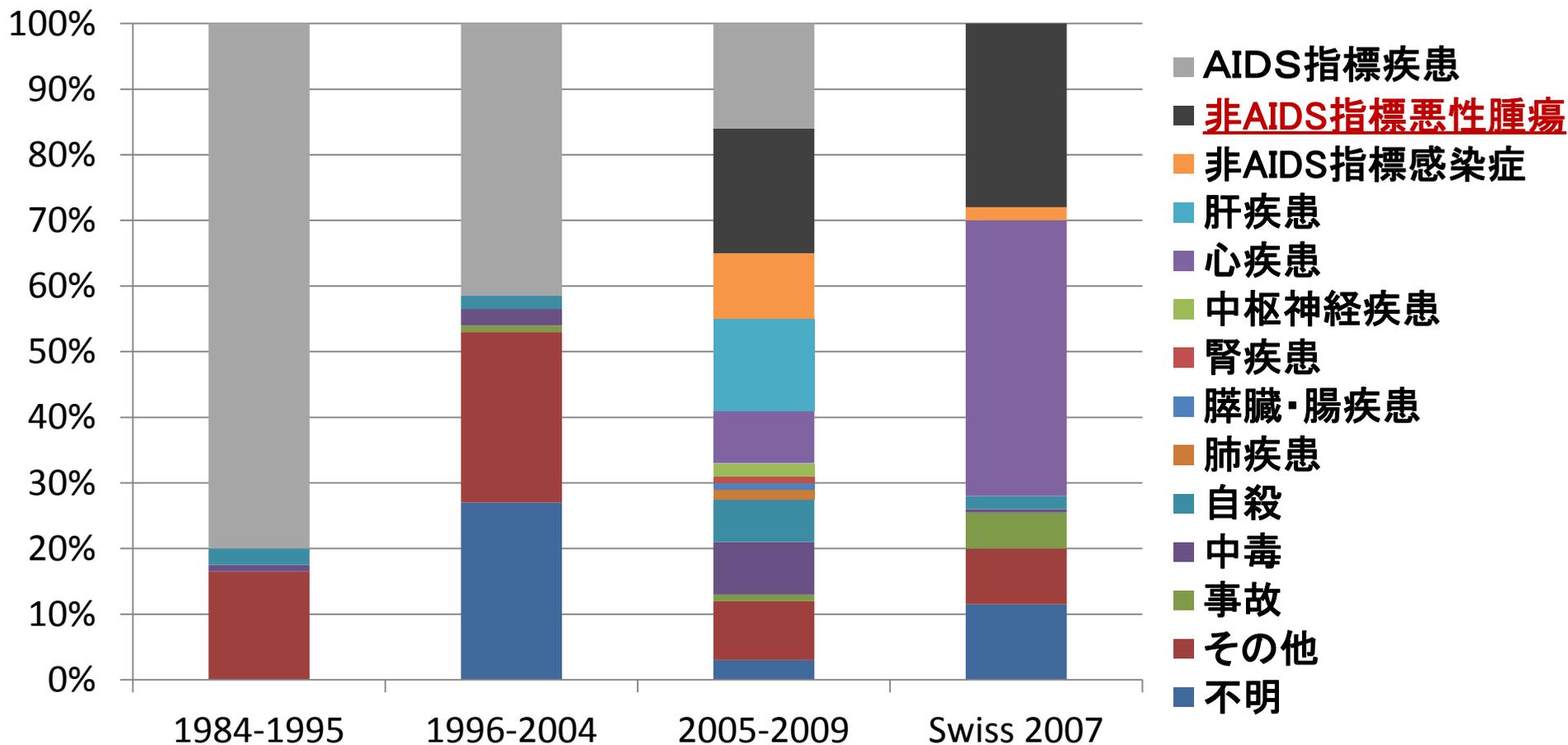
非ホジキンリンパ腫

浸潤性子宮頸癌

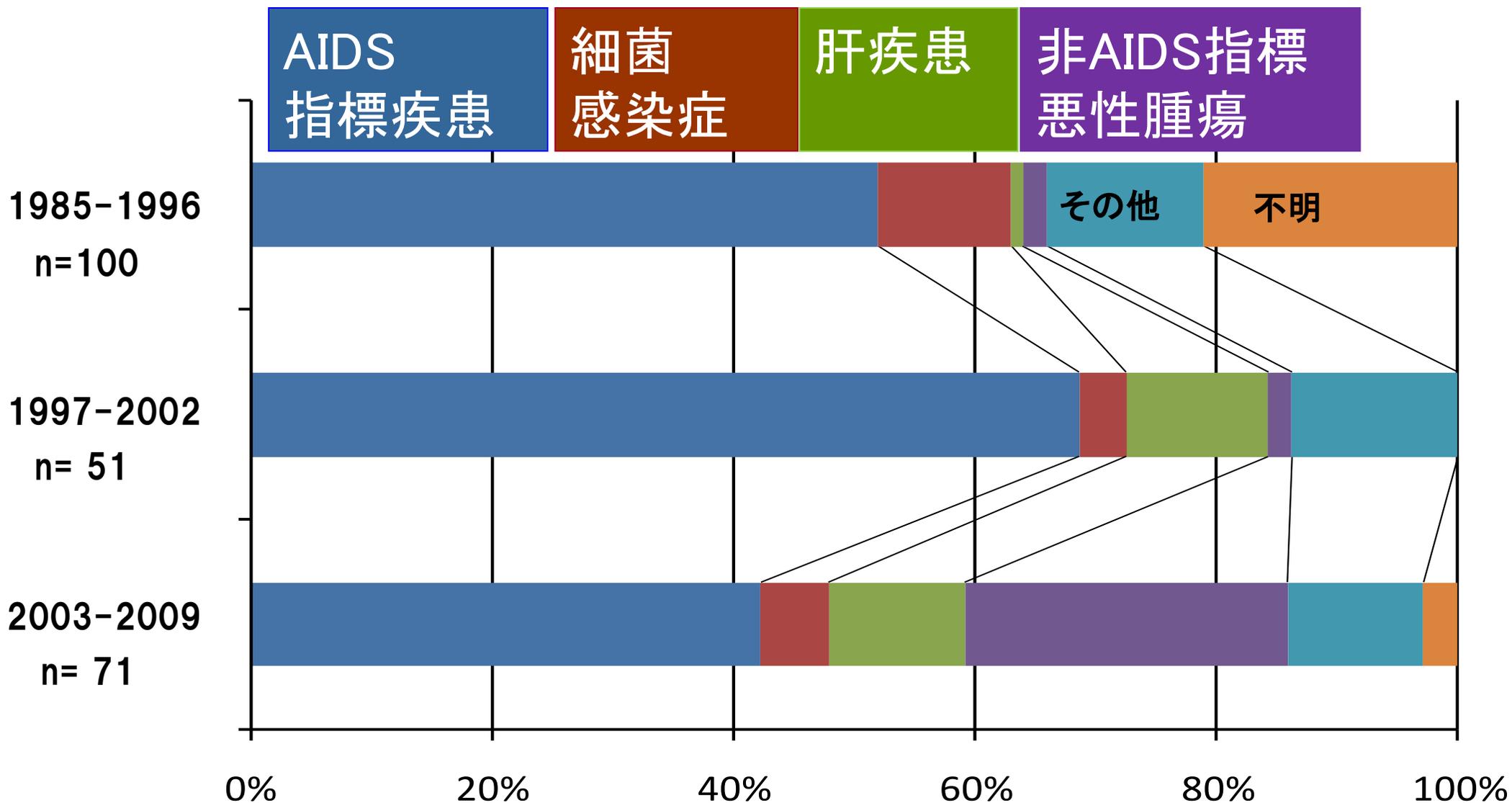
非AIDS指標悪性腫瘍(NADM)

その他の悪性腫瘍

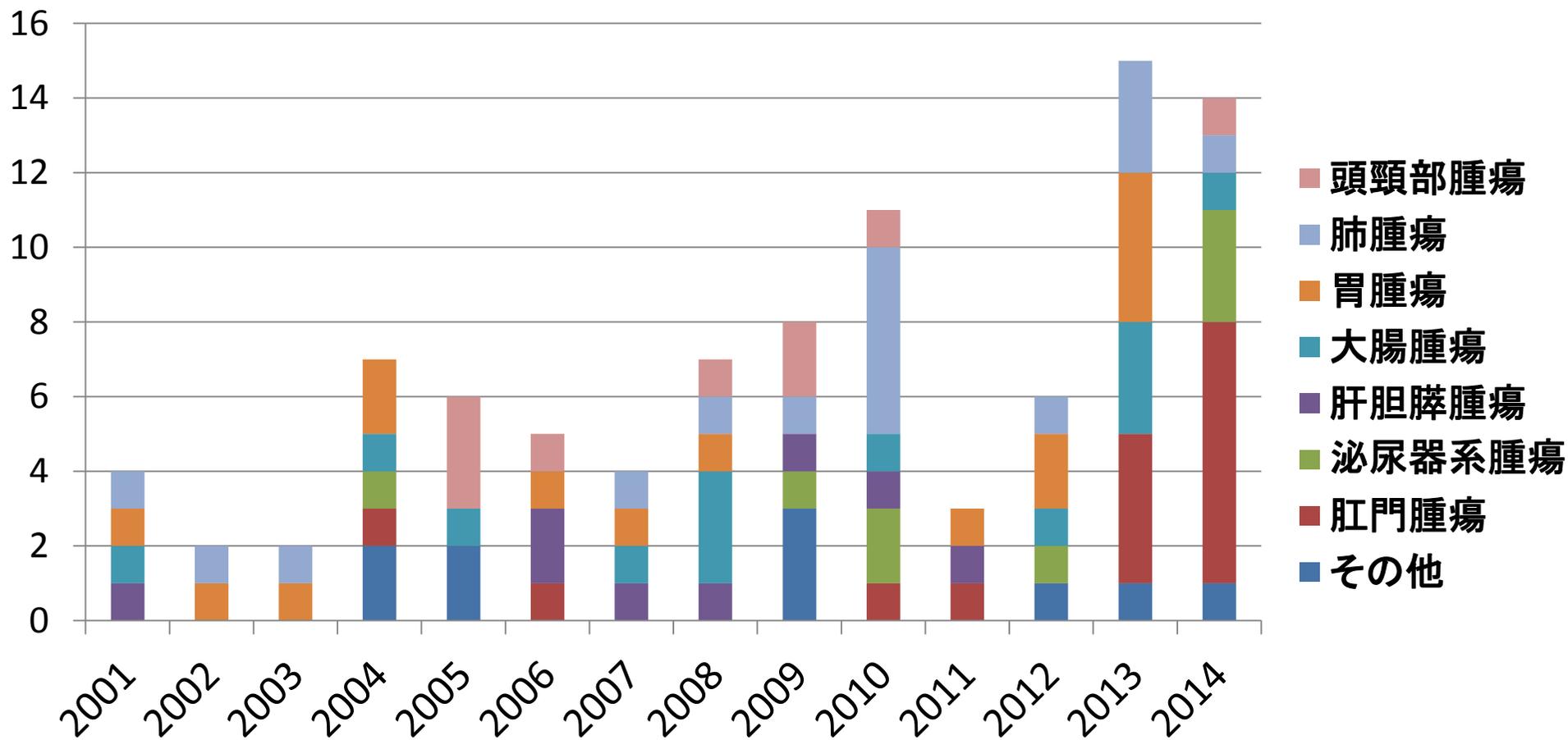
死亡原因の変化(スイスコホート研究)



死亡原因の変化(駒込病院)



非AIDS指標悪性腫瘍(NADM)の推移



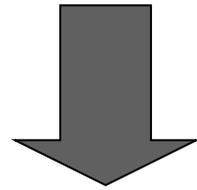
駒込病院における通院患者の死亡原因(2015)

■ AIDS関連疾患による死亡

■ その他の原因による死亡

症例	年齢	初診	死亡原因	死亡場所
1	71	1997.3.31	不明	自宅
2	68	2006.10.31	肝疾患	自宅
3	60	1997.7.15	脳出血	他病院
4	68	2004.3.4	肝疾患	自宅
5	63	2015.6.1	AIDS関連疾患 (PCP, CMV)	病院
6	58	1999.6.29	慢性腎臓病 (透析)	自宅
7	56	2015.4.10	AIDS関連疾患 (PML)	病院
8	30	2015.3.16	鼻腔癌	病院
9	48	2010.1.21	不明	自宅
10	44	2005.5.9	胃癌	病院
11	89	2000.6.23	不明	自宅

男性同性愛者が多い



ひとり暮らしの高齢者が増加

高齢化をささえる医療体制が必要

地域他科との連携

長期療養病院

在宅医療

ご静聴ありがとうございました

